

## 38 安全で活力ある県土づくり (県土整備部)

### <ねらい>

本格的な人口減少社会の到来など社会経済環境の大きな変化にも揺らぐことのない活力ある県土の形成に向け、地域の特色や資源を生かしたまちづくりを進めるとともに、地域間相互さらには県外との連携を強化し、これまで以上に人やモノ、情報などが円滑・迅速に流れる利便性の高い鉄道網や道路網の整備を重点的に進めていきます。

また、人口や産業の集積が進んだ神奈川では、災害が発生した場合には、甚大な被害が想定されることから、「減災」の視点を重視し、施設整備とソフト対策が一体となった自然災害に強い県土づくりを進めていきます。

### <めざすがた>

県内の各地域で個性を生かしたまちづくりが進み、自立した地域の発展が促進されるとともに、県内外や都市間での交流が活発に行われ、より魅力的で活力ある県土が形成されています。

また、誰もが安心してくらし、生き生きと活動できる自然災害に強い県土が形成されています。

### <数値目標>

#### 目標① インターチェンジまでの距離5km以内の地域の割合

(単位：%)

実績(2005)	現状(2006)	2007	2008	2009	2010
80	80	80	80	81	87

(道路整備課調べ)

※ 現段階で、インターチェンジの概ねの位置が明らかな県内の自動車専用道路がすべて整備されたときの5km以内の地域面積を100%として算出しています。

#### 目標② 減災のための防災情報の提供率

(単位：%)

実績(2005)	現状(2006)	2007	2008	2009	2010
28	43	67	83	100	100
[15 市区町村]	[23 市区町村]	[36 市区町村]	[45 市区町村]	[54 市区町村]	[54 市区町村]

(河川課調べ)

### <取り組む事業>

県内外の地域間の交流と連携を強化し、活力ある県土づくりを進めるため、神奈川東部方面線など鉄道網の整備促進や、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路網の整備促進と、これらを補完し、一体となって地域交流の基幹となる道路の整備を推進します。

また、環境と共生した安全性の高い県土づくりとして、相模湾の美しいなぎさの保全と再生を図るため、山・川・海の連続性をとらえたなぎさづくり・川づくりの推進、ゆとりとやすらぎの都市空間を形成する「神奈川やすらぎの道」の整備や、自然災害による被害を最小化する「減災」の観点から、橋りょうの耐震補強や河川・急傾斜地の重点的な整備に取り組むとともに、県民の防災意識の向上を図るため市町村のハザードマップ作成の支援を推進します。

	構成事業	取組内容 (実施主体)	現 状 (2006 見込)	年度別計画			
				2007	2008	2009	2010
1	公共交通機関の連続性・利便性の向上 公共交通機関の利用促進に向け、連続性・利便性の向上を図るため、鉄道網の整備を促進します。	神奈川県東部方面線などの整備促進 (国、県、市、民間)	支援	支援 (横浜市 営地下 鉄グリー ンライン 完成)	支援	支援	支援
		東海道新幹線新駅の誘致(再掲) (県、市町、民間)	要望 広報活動 調査	要望 広報活 動 調査	要望 広報活 動 調査	要望 広報活 動 調査	広報活 動 調査設 計など
		リニア中央新幹線の建設促進と駅誘致(再掲) (県、市町村、民間)	要望・ 広報活動	要望・ 広報活 動	要望・ 広報活 動	要望・ 広報活 動	要望・ 広報活 動
		J R相模線複線化の促進(再掲) (県、市町、民間)	要望・広報活 動、事業化に 向けた協議 など	要望・ 広報活 動、事 業化に 向けた 協議な ど	要望・ 広報活 動、事 業化に 向けた 協議な ど	要望・ 広報活 動、事 業化に 向けた 協議な ど	要望・ 広報活 動、事 業化に 向けた 協議な ど
2	多様な交流と連携を支える道路網の整備 広域的な交通利便性の向上と交通混雑の抜本的な改善を図るため、さがみ縦貫道路など自動車専用道路網の整備を促進するとともに、これらを補完し、一体となって地域間の交流と連携を促進する基幹的な道路網の整備を推進します。	さがみ縦貫道路、第二東名高速道路などの自動車専用道路網の整備 (国、県、市、民間)	整備	整備 (川崎縦 貫道路 (I期の うち殿 町～大 師区 間)、横 浜横須 賀道路 供用開 始)	整備 (さがみ 縦貫道 路部分 供用開 始)	整備 (さがみ 縦貫道 路部分 供用開 始)	
		(仮称)綾瀬インターチェンジの事業化に向けた取組み(再掲) (県、市、道路公社)	調査 設計	調査 設計 環境ア セス	調査 設計 環境ア セス	調査 設計 環境ア セス 都市計 画決定	調査 設計 事業化
		自動車専用道路網を補完し、一体となって地域交流の基幹となる津久井広域道路などの整備 (県)	整備 調査	整備 調査 (下今泉 門沢橋 線等5 か所供 用開始、 伊勢原 藤沢等 3か所 部分供 用開始)	整備 調査 (酒匂縦 貫道路 供用開 始、安浦 線等2 か所部 分供用 開始)	整備 調査 (河原口 中新田 線等2 か所供 用開始、 酒匂川 2号橋 等3か 所部分 供用開 始)	整備 調査 (相模原 町田供 用開始、 藤沢大 磯線部 分供用 開始)

	構成事業	取組内容 (実施主体)	現 状 (2006 見込)	年度別計画			
				2007	2008	2009	2010
3	<b>山・川・海の連続性をとらえたなぎさづくり・川づくり</b> 海岸侵食が深刻化する相模湾の美しいなぎさを保全・再生するため、山間部から河川を通じて沿岸を移動する土砂の流れの健全化に向けた総合的な土砂管理によるなぎさづくり・川づくりを推進します。	砂浜の回復と保全 (再掲) ・茅ヶ崎海岸などの養浜* ・海岸侵食対策計画の策定 (国、県)	海岸 9  調査着手	海岸 9  調査	海岸 9  調査	海岸 9  調査	海岸 9  策定
		海岸保全施設の整備 (平塚海岸) (再掲) (県)	海岸 1  調査着手	海岸 1  調査	海岸 1  調査	海岸 1  調査	海岸 1  策定
		相模川・酒匂川の総合的な土砂管理・調査検討 (再掲) ・調査・検討 (国、県)  ・土砂対策の実施 (酒匂川、相模川) (県)	総合土砂管理の調査・検討  河川 1 (酒匂川)	総合土砂管理の調査・検討  河川 1	総合土砂管理の調査・検討  河川 1	総合土砂管理の調査・検討  河川 2	総合土砂管理の調査・検討  河川 2
4	<b>「神奈川やすらぎの道」の整備</b> ゆとりとやすらぎの都市空間を形成するため、相模川、酒匂川の堤防や河川敷などを利用して、自転車道などの整備を進めます。	相模川、酒匂川の堤防などを利用した自転車道などの整備 (県、市)	整備	整備	整備	整備	整備
5	<b>災害に強い県土づくり</b> 自然災害に対する安全度を高めるため、県が管理する緊急輸送路上の橋りょうの耐震補強や、都市化が著しく早急に対策が必要な河川・急傾斜地の重点的な整備を推進します。	緊急輸送路上の橋りょうの耐震補強 (県)	3橋 (258橋)	4橋 (262橋)	1橋 (263橋) (完成)	—	—
		総合治水対策特定河川*の整備 (県)	5河川 (鶴見川、境川、柏尾川、引地川、目久尻川)	5河川 (鶴見川、境川、柏尾川、引地川、目久尻川)	5河川 (柏尾川、河床掘削完成)	4河川	4河川
		急傾斜地崩壊防止施設*の整備 (県)	% 50 (重点整備地域：横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市)	% 51	% 52	% 53	% 54
6	<b>施設整備にあわせた減災対策の推進</b> 県民の防災意識の向上を図り、災害への備えを充実するため、被害の想定範囲や避難方法などを示した市町村のハザードマップ*作成の支援を推進します。	津波災害対策の推進 ・津波浸水予測図の作成 (県)	作成完了	—	—	—	—
		・津波ハザードマップの作成支援 (県)	支援	支援	支援	支援	支援 (完了)
		水害対策の推進 ・浸水想定区域図*の作成 (県)	18河川 (62河川)	26河川 (88河川)	19河川 (107河川) (完了)	—	—
		・洪水ハザードマップの作成支援 (県)	支援	支援	支援	支援 (完了)	—
	土砂災害対策の推進 ・土砂災害警戒区域*図の作成 (県) ・土砂災害ハザードマップの作成支援 (県)	3市  支援	4市  支援	5市  支援	4市町  支援	4市町  支援	